

主催

Baden-Württemberg International 

協力

 **DJW**
日独産業協会
Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis

 **IHK** Region Stuttgart

後援

 **JETRO**
Japan External Trade Organization

 **JCS**
Japan Club Stuttgart e.V.
シュトゥットガルト日本人会

 **AHK**
Deutsche Industrie- und
Handelskammer in Japan
在日ドイツ商工会議所

Baden-Württemberg International 



インフォメーション・デー 日EU経済連携協定 (EPA)

参加費は無料ですが、席に限りがございますので、参加をご希望の方は、必ず3月8日までにお申込みください。

申し込み: eveeno.com/bwi_jefta

連絡先

バーデン・ヴュルテンベルク州国際経済学術協力公社(Bw-i)

安藤 ベアーテ

Mail: beate.ando@bw-i.de

Tel: 0711 / 22 787 – 948

「自動車と引き替えにワイン & チーズ」を超える日EU・EPA

2019年3月12日

14時—19時

Stuttgart, Haus der Wirtschaft, Berta Benz Saal

プログラム

2019年2月1日、2013年から交渉協議が続けられてきた日EU経済連携協定(EPA)が発効の日を迎えました。日欧の人口は6億3,500万人 に上り、その経済圏は世界のGDPの3分の1を占めます。同協定は、EU史上最大級の自由貿易協定であり、影響の範囲と次元は他に類を見ません。

バーデン・ヴュルテンベルク州にとって日本は重要なビジネスパートナーであるにもかかわらず、双方の間の貿易はこれまで、時として困難なものでした。一部の物品にかけられた高い関税率による関税障壁、そして標準の違いなどに代表される非関税障壁が、市場参入を阻んできたのです。日EU・EPAの枠組みに基づき、EUの対日貿易にまつわる99%の関税が、そして日本の対EU貿易に関してもほぼ同水準の関税が、各々設定された経過期間を経て撤廃されることとなります。非関税障壁の分野においても、たとえば、UN/ECE標準で合意すること、またいわゆる「スナップ・バック条項」を通して、協定締結後に新たな非関税障壁が導入されることを回避できるはずです。

当日は、日EU経済連携協定が州内の企業にどのような影響とチャンスをもたらし得るか、政治・経済分野の専門家から情報を発信いただくと同時に、参加者全員で議論を深めていく予定です。

講演や議論はドイツ語で行われ、日独・独日同時通訳が付きます。

13:30

受付

14:00 – 14:20

挨拶

バーデン・ヴュルテンベルク州経済・労働・住宅建設省 局長 ミハエル・クライナー
在ミュンヘン日本国総領事 木村徹也

14:20 – 14:50

基調講演 欧州委員会

「日EU経済連携協定——成長とより強固な協力の礎」
欧州委員会 在ミュンヘン代表部代表 ヨアヒム・メンツェ

14:50 – 15:15

経済連携協定に対する期待

対ドイツ企業調査：シュトゥットガルト商工会議所 国際貨物輸送部 ダニエル・カムフ
対日系企業調査：日本貿易振興機構(JETRO) デュッセルドルフ事務所長 渡邊全佳

15:15 – 15:45

休憩

15:45 – 16:45

パネルディスカッション

欧州委員会 在ミュンヘン代表部代表 ヨアヒム・メンツェ
シュトゥットガルト商工会議所 マーク・パウアー
DKSH Switzerland Ltd. Dr. ガブリエラ・ギロット
IHIDA international マルティナ・シック＝パネン

16:45 – 17:30

経済連携協定の実務——原産地規則、証明等

シュトゥットガルト商工会議所 国際貨物輸送部長 マーク・パウアー

17:30 – 18:00

ワインと酒——2人のソムリエによるプレゼンテーション

利き酒師、国外唯一の女性「利き酒マイスター」、上野ミユラー佳子
カールスルーエにてワイン店を営むソムリエ ゲントラム・ファールナー

18:00 – 19:00

ネットワーキング